

利用したい文献が図書館にないときは？

- ・利用したい資料が大学図書館にない場合、以下の方法で資料を入手することができます。
- ・OPACで資料を検索してヒットしなくても、それで終わりではありません。必ず「次の手」がありますから、資料に関することは、どうぞお気軽にご相談ください。

【学内でできること】

①学園内の他図書室を利用する（訪問利用／取り寄せ）

- ・桐蔭学園には大学情報センター(大学図書館)を中心として、大学に4ヶ所、中学・高校に4ヶ所の図書館(図書室)があり、資料の相互利用(訪問利用／取り寄せ)が可能ですので、大学図書館のみならず学園全体で38万冊を超える蔵書を利用することができます。
- ・桐蔭学園総合目録(OPAC)で所在を確認のうえ、大学図書館カウンターにてお申し込みください。
⇒ 利用案内リーフレット「学園内の図書室を利用するには？」を参照

②国会図書館デジタル化資料送信サービスを利用する（図書館内専用端末）

- ・デジタル化資料送信サービスは、国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、デジタル画像の閲覧ができるサービスです。平成28年1月時点では、約141万点(図書、古典籍、雑誌、博士論文)の資料が利用できます。
- ・図書館内の専用端末で本文の閲覧ができます。端末は図書館職員が起動しますので、カウンターにてお申し込みください。閲覧できる時間は、9時から19時(月-土)までです。(夜間・休日は利用できません)
- ・利用者ご自身での複写(印刷)はできません。また、画像データのダウンロードや保存、USBメモリなどへのコピーもできません。
- ・複写作業は図書館職員が行いますので、上記の時間内にカウンターにてお申し込みください。複写は白黒1枚10円です。著作権法に規定された範囲内で複写を受け付けます。



③学生用図書の購入申し込み（購入リクエスト）

- ・学生用図書として、大学生の学習及び研究に資する図書の購入リクエストを受け付けます。備え付けの「学生用図書購入希望申込書」をご記入の上、図書館カウンターにてお申し込みください。
- ・大学生及び大学専任教職員は、オンラインサービス(個人認証機能)により、図書館ホームページからも購入依頼ができます。
- ・申込みから利用できるようになるまでに約1ヶ月かかります。(洋書の場合は2ヶ月程度)
- ・以下のものは購入できません。(「学生用図書購入希望取扱いに関する内規」による)
 - (01) 汎用性に乏しく、広範な利用が見込めないもの
 - (02) 一時的な利用しか見込まれず、長期保存する価値のないもの(語学の読本、年鑑・白書、ソフトウェア解説書等)
 - (03) 継続的に刊行されるもの及びそれに準ずるもの(加除式図書、雑誌、雑誌の別冊・増刊号、新聞)
 - (04) 実用書、娯楽書、その他大学図書館の蔵書として不適当なもの(ハウツウもの、旅行ガイド、芸能関係、漫画、グラビア写真集、ゲーム解説書等)
 - (05) 閲覧にあたり機器の必要となる資料(視聴覚資料、電子媒体資料)
 - (06) 宗教団体の経典・教義書(布教を目的とするもの)
 - (07) 文芸書(文学賞受賞作を除く)
 - (08) 高額なもの(1冊2万円以上)
 - (09) 文庫本、新書等、廉価なもの(1冊1千円未満)
 - (10) 書店等に流通していないもの(展覧会図録、学会報告書等)
 - (11) 大学情報センター(大学図書館)及び学内の図書館・図書室にて既に所蔵しているもの(全集等に所収の場合も含む)
- ・同一の利用者からの申込み受けは、1ヶ月につき2件以内とします。

【直接行ってみる】

④国立国会図書館や公共図書館を利用する

- ・満18歳以上であれば国立国会図書館を利用できます。また、市内/県内在学者として、横浜市立図書館(中央図書館及び各区の図書館)、神奈川県立図書館、県立川崎図書館にて資料を借りることができます。
- ・「カーリル」(株式会社カーリル)等のオンラインサービスにより、近隣の公共図書館や大学図書館蔵書の横断検索が可能です。図書館ホームページに「カーリル」へのリンクを掲載しています。



◎主な図書館の所在地・開館時間

(01) 国立国会図書館（東京本館）

利用時間 9:30～19:00（月曜～金曜）／9:30～17:00（土曜）

休館日 日曜・祝日、年末年始、毎月第3水曜日

所在地 東京都千代田区永田町1-10-1（東京メトロ半蔵門線・有楽町線・南北線永田町駅下車）

(02) 横浜市立中央図書館

利用時間 9:30～20:30（火曜～金曜）／9:30～17:00（土曜・日曜・月曜・祝日）

休館日 施設点検日、年末年始、特別整理日

所在地 横浜市西区老松町1（京急日ノ出町駅下車、JR・市営地下鉄桜木町駅下車）

(03) 神奈川県立図書館、県立川崎図書館

利用時間 9:00～19:00（火曜～金曜）／9:00～17:00（土曜・日曜・祝日）

休館日 月曜（祝日にあたる場合は開館）、第2木曜日、年末年始、資料総点検期間

所在地 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2（京急日ノ出町駅下車、JR・市営地下鉄桜木町駅下車）
川崎市川崎区富士見2-1-4（川崎図書館／JR・京急川崎駅下車）

⑤他大学の図書館を利用する（利用紹介状持参）

- ・学内に閲覧希望の資料がないときは、他大学の図書館を利用することができます。その際、本学図書館の発行する「利用紹介状」が必要となります。
- ・利用したい資料名と閲覧希望日を明らかにしたうえで、図書館カウンターにてお申し込みください。先方の図書館への確認が必要ですので、紹介状を即日発行することはできません。閲覧希望日まで余裕を持って申し込んでください。また、資料の利用は館内限りとなります。（館外貸出はできません）
- ・近隣の大学図書館の中には、以下のように相互に紹介状なしで利用が可能な施設もあります。利用条件等、詳しくは図書館カウンターにてお訊ねください。

(01) 横浜市内大学図書館コンソーシアム加盟館

学生証又は大学発行の身分証明書を提示することで、コンソーシアム加盟各図書館の館内利用ができます。手続き方法は各館によって異なり、紹介状が必要な図書館もあります。また、利用時期等に制限がある場合もあります。

[相互利用可能] 神奈川大学図書館、関東学院大学図書館、國學院大學たまプラーザ図書館、鶴見大学図書館、東京都市大学横浜キャンパス図書館、明治学院大学横浜校舎図書館、横浜国立大学附属図書館、横浜商科大学図書館、横浜市立大学学術情報センター

[紹介状が必要] 慶応義塾大学日吉メディアセンター

[女子学生のみ] 東洋英和女学院大学図書館、フェリス女学院大学附属図書館

(02) 神奈川県内大学図書館共通閲覧証（神奈川県図書館協会）

共通閲覧証を提示することで、県内の大学図書館を訪問、閲覧することができます。共通閲覧証の発行はカウンターにてお申し込みください。利用に制限のある大学図書館もあります。詳しい利用条件については、神奈川県図書館協会ウェブサイト（図書館ホームページにリンクあり）で確認してください。

【文献の取り寄せ】

⑥KL-NET (神奈川県図書館情報ネットワーク・システム) で取り寄せる

神奈川県立図書館を通じて、県立図書館をはじめ神奈川県内の市町村立図書館等から本を取り寄せることができます。図書館カウンターにてお申し込みください。

- ・本の取寄せに費用はかかりません。
- ・配本車の巡回は2週間に1度です。取り寄せまでに時間がかかる場合があります。
- ・利用が集中する文芸書や新刊書(刊行後半年以内)など、取り寄せができない場合があります。

⑦他大学・国会図書館から論文のコピーを取り寄せる《有料》

雑誌掲載論文など特定のページや記事を入手したいときは、論文コピーを郵送で取り寄せることができます。到着までに1週間から10日ほどかかります。

- ・大学生は、備え付けの「文献複写申込依頼書」を記入のうえ、カウンターにてお申し込みください。大学専任教職員は、オンラインサービス(個人認証機能)により、図書館ホームページからも申込みができます。
- ・「文献複写申込依頼書」は1文献につき1枚、掲載誌名・巻号・ページ数・著者名・著者名・論題等、必要事項を省略せずに記入してください。また、本学にて所蔵していないか事前にOPAC(オンライン目録)をご確認ください。
- ・費用実費(複写代及び送料)は申込者の負担となります。(大学専任教職員は無料)
- ・著作権法に定められた範囲内で複写の申込みが可能です。
- ・本学にて所蔵する文献、インターネット上で公開されている文献については、学外複写を受け付けません。
- ・文献到着の際は学内メール(@toin.ac.jp)宛に連絡しますので、速やかに来館してください。

⑧他大学・国会図書館から図書現物を取り寄せる《教員のみ》

書籍については、資料そのものを取り寄せることができます。取り寄せた資料は、原則として大学図書館内に限り閲覧することができます。

- ・取り寄せは教職員のみ可能です。送料実費は申込者の負担となります。(大学専任教職員は無料)
- ・備え付けの「現物借受申込依頼書」を記入のうえ、図書館カウンターにてお申し込みください。大学専任教職員は、オンラインサービス(個人認証機能)により、図書館ホームページからも申込みができます。
- ・文献到着の際は学内メール(@toin.ac.jp)宛に連絡しますので、速やかに来館してください。